

いんたーかるとにほんごがっこう

インターカルト日本語学校

INTERCULTURAL INSTITUTE OF JAPAN

【住所】〒110-0016 東京都台東区台東2-20-9

【行き方】都営大江戸線新御徒町駅A2出口徒歩5分、JR山手線御徒町駅北口徒歩9分、東京メトロ日比谷線御徒町駅出口1徒歩8分

【教育開始時期】1977年03月

【TEL】03-5816-4861 【FAX】03-5816-4862 【URL】http://www.incul.com

【email】incul@incul.com

【設置者】インターカルト日本語学校（種別：株式会社）

【機関の長】加藤早苗

【収容定員】720人 二部制 【教員数】60人（うち専任14人）

【宿舎】有 【料金】（月額）69,000円～71,000円

【入学資格】長期コース：18歳以上
Weeklyコース：15歳以上【入学選抜方法】長期コース：面接、書類選考
Weeklyコース：書類（願書確認）【参考とする日本語試験】日本語能力試験、J.TEST
NAT-TEST

【認定コース在籍者数】492

内訳(人)：中国(130)、台湾(82)、タイ(47)、香港(32)、スウェーデン(31)、その他(252)[米国、イタリア、ロシア、インドネシア、韓国、英国、イスラエル、イラン、ウクライナ、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、ギリシャ、コロンビア、サウジアラビア、シンガポール、マレーシア、スペイン、チリ、ドイツ、トルコ、ノルウェー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベトナム、ポルトガル、ミャンマー、南スーダン、メキシコ、ウズベキスタン、ギニア]

【その他コース在籍者数】82

【教材】

初級	『サバイバルジャパニーズ』『みんなの日本語 初級』 『きらり日本語N4・N5』『Weekly J for starters』	初中級	『Weekly J』『Japanese for Busy people』『中級へ行こう』
中級	『中級を学ぼう』『ニュースの日本語』 『ビジネスのための日本語中級』	上級	『人を動かす! 実践日本語会話上級』 『上級レベルロールプレイで学ぶ日本語』、生教材

【認定コース】

	目的	期間	時数	週数	入学月	選考料	入学金	授業料	その他	合計(円)
総合進学課程2年コース	進学	2年	1,600	80	4	20,000	60,000	1,400,000	140,000	1,620,000
総合進学課程1年9ヶ月コース	進学	1年9か月	1,400	70	7	20,000	60,000	1,225,000	128,900	1,433,900
総合進学課程1年半コース	進学	1年6か月	1,200	60	10	20,000	60,000	1,050,000	105,800	1,235,800
総合進学課程1年3ヶ月コース	進学	1年3か月	1,000	50	1	20,000	60,000	875,000	91,300	1,046,300
総合進学課程1年コース	進学	1年	800	40	4	20,000	60,000	700,000	70,000	850,000

【認定以外のコース】①Weeklyコース（一週間から受講可能）②サマー、オータム、ウィンター、スプリングコース③ビジネスコース
④プライベートコース⑤e-ラーニングコース⑥日本人のための日本語教員養成コース 他

【日本語能力試験】2015年度受験状況

	N1	N2	N3	N4	N5	合計
受験者数	49	150	42	3	0	244
認定者数	19	78	32	3	0	132

【日本留学試験】2015年度受験状況

●第1回

日本語受験者	日本語 219点以上	文系 受験者	文系 100点以上	理系 受験者	理系 100点以上
4	2	3	3	1	1

●第2回

日本語受験者	日本語 219点以上	文系 受験者	文系 100点以上	理系 受験者	理系 100点以上
9	7	4	3	2	

【進学実績】2016年4月までの進学状況 卒業者数 265

大学院	大学	短期大学	高専	専修学校	各種学校	その他
9	10	0	0	59	0	0

【主な進学先】

東京大学大学院、一橋大学大学院、早稲田大学大学院、慶應義塾大学大学院、上智大学大学院、名古屋大学大学院、電気通信大学大学院、早稲田大学、中央大学、明治大学、立教大学、法政大学、麗澤大学、日本電子専門学校、東放学園専門学校、東京製菓学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校、ハリウッドビューティ専門学校、辻調理専門学校、日本写真芸術専門学校、文化服装学院、日本外国語専門学校、東京外国語専門学校

●特色1

日本語の学習目的や学習期間も様々であるため、それらに合わせて多種多様なコースを設定しています。独自のテキストや問題集の出版、デジタル教材を開発し、学生は電子教材を無料で使用でき、外部への販売もしています。

●特色2

長期コースはレベル別ホームクラスと目的別授業、漢字クラス（漢字圏、非漢字圏）からなっています。また、毎週入学が可能なコース（Weeklycourse）を設置、カリキュラムはCEFRの基準に沿った「Can-do-statements」でできています。

●特色3

課外活動（アクティビティ）が充実しており、短期間であっても様々な日本体験、日本理解の機会を得ることができます。2016年3月31日に日本語教育振興協会の第三者評価の認定と共に国際規格「ISO29991:2014」の認証を取得しました。